監査役監査基準（日本監査役協会）

各条項のレベル分けについて

Lv.	事項	語尾
1	法定事項	原則「ねばならない」、「できない」に統一する。 ただし、法令の文言を勘案する場合もある。
2	不遵守があった場合に、善管注意義務違反となる蓋然性が相当程度にある事項	原則「ねばならない」に統一する。
3	不遵守が直ちに善管注意義務違反となるわけではないが、不遵守の態様によっては善管注意義務違反を問われることがあり得る事項	原則「する」に統一する（「行う」等を含む）。
4	努力義務事項、望ましい事項、行動規範ではあるが上記1～3に該当しない事項（検討・考慮すべきものの具体的な行動指針は示されていない事項等）	状況に応じて文言を選択する。 なお、努力義務事項については、「努める」に統一するほか、行動規範ではあるが上記1～3に該当しない事項は、原則「～ものとする」に統一する。
5	権利の確認等上記1～4に当てはまらない事項	状況に応じて文言を選択する。

- . . . . .

取締役会等の意思決定における監査の5項目

- ① 意思決定内容が法令又は定款に違反していないこと
- ② 意思決定が取締役又は第三者の利益でなく、会社の利益を第一に考えていること
- ③ 事実認識に重要かつ不注意な誤りがないこと
- ④ 意思決定過程が合理的であること
- ⑤ 意思決定内容が通常の企業経営者として明らかに不合理でないこと

【引用文献】

「監査役職務確認書」2. 取締役会等の意思決定・監督業務の履行状況の監査 P7.（一般社団法人 監査懇話会 2017年版全文—説明・主な関連法令等・確認事項・監査のつぼ）